



伊豆市

議会だより

No.35

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2013.2.1発行



(中伊豆地区上白岩から望む)

静岡県では2月23日を「富士山の日」とする条例を制定し、富士山を後世に引き継ぐための県民運動を展開しています。また、山梨県や関係市町、民間団体等と連携を図り、本年の「富士山世界文化遺産登録」を目指し、活動を進めています。

市内からは、宝永火口を正面にし、稜線がほぼ左右対称となる富士山を見ることができます。

目次 CONTENTS

- 議長新年のあいさつ 2
- 12月定例会の概要 3
- 委員会審査 6
- 一般質問 8
- 3月定例会の予定 12

新春のごあいさつ



伊豆市議会議長

飯田 正志

市民の皆様方には、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、皆様方の議会への温かいご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。次第です。

さて、昨年10月の議会改選により、新人議員9名が誕生し、伊豆市議会に新風が吹き込まれました。今年、伊豆市合併10年を迎える節目の年となりますが、市町村合併の大きなメリットであった合併特例債の期限は残り2年となり、人口減少等

に伴う地方交付税の減少や、日本経済の低迷による税収の落ち込みなど、伊豆市の財政状況は一段と厳しさを増すことが予想されます。

伊豆市議会は、市の予算や条例、重要な施策などの議決機関として、市民の皆様信頼に込められるよう、意新たにするとともに、本年が、伊豆市にとって輝かしい変革の年となるよう取り組んでまいります。

また、伊豆市議会では二つの会派が誕生し、積極的に勉強会や他市議会との情報交換の機会をもち、伊豆市の将来

に新たな展望が拓ける議論を進め、議員自らの資質向上に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、皆様方のご多幸とご発展を祈願し、新年の挨拶といたします。



▲平成 25 年伊豆市消防団出初式での放水

- 議会選出の監査委員に三田議員を選任
- 神奈川県平塚市と「友好都市」の提携へ
- 一般会計は165億3010万円に



三田忠男議員

◆伊豆市監査委員の選任
 監査委員は、市の財政事務等について監査をする職で、学識経験者と市議会議員から各一人ずつ選出することとなっています。
 今回、任期満了に伴う改選により、新たに三田忠男議員（上白岩）が選出され、同意しました。

人事

平成24年12月定例会

平成24年12月定例会を、11月27日から12月14日まで18日間の会期で開催しました。報告1件、人事案件1件、補正予算5件、条例関係10件、その他4件を原案のとおり同意・可決しました。
 また、「伊豆中央道・修善寺道路の早期無料化と江間交差点のフルインターチェンジ化を求める意見書」を採択しました。

平塚市との提携

◆友好都市の提携
 平成24年は、昭和57年4月に旧天城湯ヶ島町と平塚市との間で「平塚市民休養の郷」提携がされてから30周年となることから、さらに両市の絆を深めようと、友好都市の提携をするもの。
 今後は、文化・スポーツ・産業など、両市の特徴を活かした幅広い交流を進めていきます。



▲12月中旬、平塚市にて開催された「伊豆市観光物産展」

▼物産展でLOVEバーガーを試食する落合平塚市長



報告と承認

◆専決処分の報告とその承認
 11月16日の衆議院解散を受け、12月16日執行の衆議院議員選挙に早期に取り組むため、選挙事務費2500万円を増額する一般会計補正予算（第4回）を専決処分した報告があり、承認しました。

補正予算

◆一般会計（第5回）
 中途退職者による人件費の調整のほか、早期優遇退職制度に基づく退職手当組合特別負担金、救急医療体制維持のための公的病院等への補助金、学校再編による天城小学校の通学安全対策経費等、3億1200万円を増額し、歳入、歳出予算額を165億3010万円とするほか、繰越明許費1件、債務負担行為8件を追加するもの。

◆国民健康保険特別会計（第2回）
 介護保険納付金の決定による不足額の追加と、前年度の国庫負担金清算による返還金等5291万1千円を増額するもの。

◆簡易水道事業特別会計(第2回)
八木沢地区の簡易水道追加工事など、1535万9千円を増額するもの。

◆農業集落排水事業特別会計(第2回)
電気料金の値上げによる不足として、200万円を増額するもの。

◆上水道事業会計(第2回)
地方公営企業会計の基準見直しに伴い、固定資産財源調査業務委託を債務負担行為するもの。

条例関係

◆伊豆市債権管理条例の制定
市の債権について、地方税法等と同様に、管理に関する統一的な処理基準を定めることで、公平な市民負担の確保と、債権管理の適正化等を図るために制定するもの。



◆伊豆市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定
◆伊豆市準用河川における管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定

◆伊豆市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

◆伊豆市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

◆伊豆市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定

いずれも、地域主権一括法の施行により、市が管理する道路、河川についての技術的基準と、指定地域密着型サービスに係る基準について、条例で定めるもの。

◆伊豆市職員の給与に関する条例等の一部改正

非常勤職員についての規定を、他の条例で規定するためのものと、平成23年度人事院勧告の内容のうち、見送っていたものについて

実施するため、改正するもの。

◆伊豆市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

特別職の非常勤職員の報酬等を規定していた条例に、一般職の非常勤職員の報酬等を併せて規定するため、改正するもの。

◆伊豆市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

特定任期付職員の期末手当について、国等の規定に準拠したものの改正と、任期付職員についても技能労務職員の採用ができるよう、改正するもの。

◆伊豆市学校給食調理場条例の一部改正

学校給食の調理と配送計画を見直すため、改正するもの。これにより、修善寺南小の給食調理場は今年度で廃止され、新年度からは、中伊豆給食センターから給食を配送する。

また、中伊豆給食センターから配送している修善寺東小の給食は、天城給食センターからの配送に変更となる。

その他

◆公の施設の指定管理者の指定(天城ふるさと広場)

指定管理者審査会の審議結果を受け、新たにNPO法人伊豆市体育協会に管理運営を委託するもの。
指定期間は、平成25年4月から平成30年3月までの5年間。

◆公の施設の指定管理者の指定(修善寺体育館・グラウンド)

現在、管理運営を委託しているNPO法人伊豆市体育協会に、引き続き委託するもの。
指定期間は、平成25年4月から平成28年3月までの3年間。

◆業務委託契約の締結(汚泥再生処理センター建設工事)

田代に建設予定の「伊豆市汚泥再生処理センター」建設工事について、議会の議決を求めるもの。
契約相手 クボタ環境サービス(株)
契約方法 総合評価方式一般競争入札

契約金額 9億3975万円
委託期間 議決の日から、平成27年3月13日まで

意見書

◆伊豆中央道・修善寺道路の早期無料化と江間交差点のフルインターチェンジ化を求める意見書

(要旨)

東駿河湾環状線の開通と、伊豆縦貫自動車道の事業化などは、低迷する伊豆地域の観光に新たな光となり、大きな期待が寄せられている。

しかし、これら計画の根幹となる伊豆中央道と修善寺道路については、道路経営の一本化、合併採算制の導入、両路線の建設借入金償還計画の見直し、伊豆中央道の償還期限延期が計画されている。

また、江間地区の伊豆中央道は市道と平面交差し、交通渋滞や事故が危惧される危険な交差点であるため、以下について実現するよう、強く要望する。

- 1 早期に伊豆中央道及び修善寺道路の無料化を図ること
- 2 江間交差点の立体化と、フルインターチェンジの設置を図ること

〔提出先〕静岡県知事

静岡県議会議長

平成24年12月定例会 賛否一覧

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	杉山誠	室野英子	森良雄	木村建一
人事																
伊豆市監査委員の選任について	同意	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
補正予算																
平成24年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
条例関係																
伊豆市債権管理条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市学校給食調理場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
その他																
公の施設の指定管理者の指定について(天城ふるさと広場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について(修善寺体育館・修善寺グラウンド)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
業務委託契約の締結について(汚泥再生処理センター建設工事業務委託)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○

※1 ○ 賛成 × 反対

※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わらない。

※3 全会一致となった議案・意見書等は、掲載していない。



委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

第1委員会

【総務部関係】

問 定住促進事業補助金の増額補正予算に関連して、市内・外の交付内訳を求める。

答 22年度は市内12件、市外5件。23年度は市内10件、市外14件。24年度は市内11件、市外9件に交付し、予算を全額執行しました。

しかし、まだ交付申請の申し込みがあるため、今回15件分の増額補正を計上しました。

※定住促進事業とは、市に定住する若者を対象にした事業で、新築または購入（家屋登記）により取得した住宅に対し、100万円を補助するもの。

問 伊豆市債権管理条例の制定について、議会に諮らなくても債権の処分ができるものと解釈するが、

数千万円でもそうなるのか。

答 この適用で条件に合っていれば、議会の議決は不要と判断しています。

【観光経済部関係】

問 伊豆トレイルランニングレース（第1回伊豆松崎・修善寺山岳間競争大会、平成25年3月10日開催）実行委員会助成金に関連し、開催当日の安全面をどのように考えているか。

答 これまでに実行委員会を8回行いました。伊豆市・松崎町ともに、来年度以降も続けて開催したいと考えています。

当日の安全面については、事前にコースチェックを行い、県警の山岳救助隊や関係機関に協力をお願いしています。

一般ハイカーや自然保護にも配慮し、現在準備を進めているところです。

問 このトレイルランニングレースには、1500人以上の参加応募があったと聞いたが、松崎町を出発し伊豆市にゴールするレースを、観光に結びつけるPRはして

いるか。

答 今回伊豆市では、自然を売り込みながら、何度も訪れてくれるリピーターを増やすことを目的にしています。

松崎町への宿泊者が多いのではと予想していましたが、修善寺温泉に前泊をしたいとの問合せも数多くあり、地元経済効果のある取り組みにつながるように、支援したいと考えています。



▲コースの全長は70kmで、風光明媚な山稜線や歴史ある地域を走ります

問 有害鳥獣捕獲報償費の増額補正予算について、銃と箱わなのどちらを補正するのか説明を。

答 当初予算では、800頭の捕獲を見込み、報償費を計上しましたが、10月末でシカ・イノシシを

合わせ、すでに790頭を捕獲しました。

11月から狩猟期に入りますので、今回100頭分の報償費を計上するものです。

790頭の内訳としては、銃による捕獲、シカ439頭、イノシシ86頭。わなによる捕獲、シカ165頭、イノシシ100頭となっています。

問 天城ふるさと広場の指定管理者の指定について、体育協会に管理がかかり、地元の雇用に結びつくと考えているか。

答 伊豆市体育協会からは、魅力（三力）プロジェクトとの関わりや、市民の健康増進、観光振興面での市内波及効果を考えて、地元雇用や地元業者の活用等、地域連携による管理を行う旨の提案がありましたので、選定しました。

【建設部関係】

問 道路橋梁災害復旧事業の土地購入費と、物件移転補償金の補正予算について、説明を求める。

答 土肥の八木沢大西線において、N.T.Tの電柱を移転する内容です。

第2委員会

【市民環境部関係】

問 国民年金事務費のシステム改修委託料の増額補正は、どのような内容か。

答 現在、国民年金に関する新規脱退、再取得等の異動データの送付は、書類により行っています。

しかし、平成25年の4月からは電子媒体のCDにより送付するこ

公共事業では、用地を先行取得し工事を進めるルールですが、災害復旧工事は、工事が終了するまでに用地を取得しておくことがルールとなっています。

問 上水道事業会計の固定資産財源調査委託業務について、その必要性の説明を求めます。

答 約2500件の資産があり、資産台帳もありますが、財産内訳が未整備のため、旧四町の決算書から数字を合わせ、拾い上げる作業となります。

膨大な時間が必要なことから、業務を委託するものです。

とになったため、システムの改修が必要になったものです。システムを改修する経費は、国庫委託金として全額補助されます。

【健康福祉部関係】

問 市内公的病院等補助金の対象病院と、その補助金の交付に伴う特別地方交付税の措置について、説明を。

答 伊豆赤十字病院と中伊豆温泉病院の救護病院二つに限り、補助をしています。

特別交付税は、市が補助したものに對して交付されるため、市が独自の要綱を定めています。しかし、国全体が財政難の中、総額は減らされていますので、補助したからといって、必ず総額が増えるものではありません。

問 伊豆市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、この条例の基準は厚生労働省の省令にあるが、他の市町と同じ対応をしているのか。

答 事業の人員、設備及び運営に関する基準は、条例で大筋を定め、

あとは規則で定める形をとっています。

地域主権一括法により、それぞれの自治体が定めるものですが、静岡県の指導によるひな型に従って、制定するものです。

【教育委員会関係】

問 学校再編事業の土地購入費について、購入する土地の使用目的は何か。

答 天城小学校の開校に向けた狩野小学校の校舎増築により、来客用の駐車場が減ったため、来客・保護者用の駐車場に使用します。

また、警察等との協議により、学校出入り口の横断歩道を修善寺側に少し移動し、児童が安全に信号を待つことができる場所として使用したいと考えています。



▲狩野小学校前

問 伊豆市学校給食調理場条例の一部改正について、自校方式の特徴を無くしてもセンター方式へと判断する理由は何か。

答 修善寺地区の学校給食については、児童数の減少に伴い、段階的に自校方式からセンター方式にかえてきた経緯があります。

人件費等経費の面と、給食センターを有効活用していきたいという理由からです。

問 修善寺体育館・修善寺グラウンドの指定管理者の指定について、資料によると平成23年に旅行業登録を行っているが、具体的にどのようなことを行う予定なのか。

答 現在、伊豆市体育協会は魅力(三力)プロジェクトの事務局をしています。

魅力(三力)プロジェクトは、伊豆市内の社会体育施設を有効活用し、大学生の合宿や各種スポーツ大会等を誘客するものですが、誘客には旅行業の資格が必要になるため、第3種資格を取得し、登録したものです。

市政を問う

～一般質問～

12月定例会では、10人の議員より29件について質問がありました。
そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

質問

子育ての経済的負担軽減の対策

(木村 建一議員)

私は、平成24年6月及び9月議会で、教育費の保護者軽減対策を求めてきました。

これは、市の後期計画(平成23～27年)「子育ての経済的負担を軽減するための支援を充実させる」ことに繋がりませんか。

市長は、どんな経済的負担軽減対策を考えていますか。

市長 市答

子育て支援策を、さらに拡充していきたい

人口減少は全国共通の問題ですが、出生数が極端に低いのは、伊豆市特有の問題です。

現状の子育て支援策としては、中学生まで医療費の助成対象とし、父子・母子家庭の医療費助成を行っています。また、出産準備手当金の支給や、妊婦健診の補助など、妊娠中からも支援させていただいています。

さらに、社会福祉協議会を通じたチャイルドシートの貸出や購入補助制度も行っており、さらに拡充していきたいと考えています。

高校生の通学費については、現在大変悩んでいて実現していませんが、小・中学生は、2キロメートル以上を公費負担としています。

質問

ジェネリック医薬品の普及促進について

(杉山 誠議員)

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と効き目や品質、安全性が同等の医薬品です。

しかし、価格は先発医薬品に比べて7割から5割以下と、大幅に安いのが特徴です。

年々増加している医療費の削減、患者負担の軽減のためにも、「ジェネリック医薬品・希望カード」を配布するなど、普及に力を入れてはいかがでしょうか。

市長 市答

希望カードを配布し、医療費の削減に努める

毎年1回、田方医師会と市長部局で意見交換を行い、ジェネリック医薬品についての意見を伺っています。

平成23年度の伊豆市国民健康保険事業においては、調剤費が約6億3200万円、療養給付費の16%余が調剤費となっています。

ジェネリック医薬品の普及が医療費削減に効果的であることははっきりしていますので、「ジェネリック希望カード」を作成し、配布も行っています。今後は、個別配布も行い、ジェネリック医薬品の普及を含めた医療費の削減に努めたいと考えています。

質問

子供にも補助を。インフルエンザの予防接種

(森 良雄議員)

インフルエンザの予防注射の補助は考えていませんか。

インフルエンザの予防注射は3千円ぐらいかかります。年寄りには補助がありますが、子供には補助がありません。集団発生時の対策としても効果があると思います。学級閉鎖は教育上、マイナスです。子供への予防接種の補助を考えてはいかがでしょうか。

長弁
教育
教答

効果や副反応等考慮し、現時点での考えはない

接種後の副反応や、その因果関係が不明確であること。予防接種が任意であり、個人の責任と意思による努力義務であること等を考え、児童・生徒への予防接種の補助は、今のところ考えていません。

予防接種は、個人の発病予防や、重症化の効果は認められているようですが、蔓延予防上の効果については難しいと判断され、平成6年には、予防接種法の改正により、対象疾病から削除されました。

したがって、集団発生を防止できるかについては、現在疑問です。

質問

学校統廃合に正義はあるのか

(西島 信也議員)

① 純粹な教育問題として、学校統廃合をどう考えているのか、やらなければならない状況はどういう時か。

② PTA・地域住民にアンケートをとるなどして、民意を十分に把握した上で、再編計画を見直す考えはないのか。

長弁
教育
教答

民意を把握し、必要に応じて見直す

学校教育が目指す子供の姿は、集団生活を通じ、人間関係の中で切磋琢磨し、主体性や社会性、思いやりのある心を育むことだととらえています。

また、児童数減少の中、子供たちのために、より良い学習環境、生活環境を整えることが、学校再編成であると考えます。

したがって、子を持つ親の世代のほか、地域住民、関係機関と議論を経て、民意を把握した上で、子供たちのためのより良い学校づくりの推進になるのであれば、修善寺地区の小学校、市内中学校の再編成計画を見直すことも、必要になると考えています。

質問

観光事業・港湾整備事業について

(小長谷 順一議員)

平成24年9月、伊豆半島は日本ジオパークの認定を受けました。そして、県は25年7月の富士山世界文化遺産登録にむけて、清水港と土肥を結ぶ駿河湾横断ルート、富士山の語呂合わせで「海の県道223(ふじさん)号」として認定すると発表しました。伊豆市にとっても大いに期待するところです。

このチャンスをもとのように捉えて、観光事業・港湾整備事業を進めていきますか。

長弁
市答

土肥港みなとまちづくり構想を足がかりにする

現在の伊豆市の観光交流人口は年間300万人、宿泊人数は82万人で、最盛期と比べるとだいぶ落ち込んでいます。

そのような中で、伊豆縦貫道の工事の進捗、世界ジオパークへ向けた伊豆半島が一丸となった行動。それから西伊豆地区の1市3町と静岡市、県も参加したフェリーの利用促進が眼前にありますので、平成21年度に策定した「土肥港みなとまちづくり構想」を足がかりに、道路整備やフェリーの利用促進と合わせて、しっかりと取り組んでいきます。

質問

修善寺地区小学校のトイレ改修・整備について

(小長谷 朗夫議員)

小学校のトイレ指導は他の教育活動同様、大切な指導と理解しています。特に、低学年においては担任も気を遣うところです。生活空間が洋式トイレに慣れている児童は、時にストレスや困り感を抱くこともあります。

しかし、小学校の現状は、圧倒的に和式で占められています。そこで洋式化への改修整備が急務と考えますが、いかがですか。

長弁
教育
教答

和式・洋式のどちらでも使えるように指導する

トイレ指導は、子供の健康管理や精神面で重要であると認識しており、学級担任や養護教員が指導をしています。また、掲示物を貼るなどして、特に1年生に対して、使い方に困らないような工夫をしている学校もあります。

現在、公共機関や外出先においては、和式トイレも洋式トイレもあり、混在しています。学校においては、和式・洋式トイレのどちらでも使えるような指導を今後も続け、校内だけでなく、外出先でも困らないような、基本的な指導を心がけていきたいと思っております。

質問

光ファイバー網整備事業構想は

(山下 尚之議員)

市民の声として、「光ファイバー網の整備」が多く聞かれますが、伊豆市の建設計画の中に、「高速回線の整備など情報通信基盤を整備し、行政・医療・福祉・産業・文化等情報ネットワークの形成を促進する。」とありますが、構想はお持ちか、具体案、具体策はどのようなものか、今後の見通しはどうか伺います。

長弁
市答

同構想は、検討の後、皆さんと相談する

光ファイバー整備は、きわめて大切な課題だと思っております。

中伊豆地区を含む、市内の光ファイバー整備事業については、最終的に、市長としての決心までいくかどうか分かりませんが、相当地域が高いところまでの検討を得た上で、議会及び地域の皆さんに相談させていただきたいと思っております。

※光ファイバーとは、データを光信号に変換して伝送するケーブルのことで、データ伝送速度の速さ、一度に伝送できるデータ量の大きさが共に非常に優れていることを最大の特徴とするもの。

質問

伊豆市内、中山間地域の誘客対策について

(大川 明芳議員)

美しい景観、豊かな自然環境、個性あふれる伝統文化や歴史といった豊富な資源を有している中山間地域は、失われつつある田園的魅力、都会に住む人々の心の故郷を提供する地域として、見直されつつあるといわれます。

農家に対して、民宿やペンション等の複合的経営を導入することについて、市長はかがお考えか伺います。

長弁
市答

農家民宿等の事業は、可能性はある

農家民宿、民家民宿と呼ばれるグリーンツーリズムの中の一つの事業形態は、伊豆市には大変に可能性があると考えています。

農家の増改築については、条件次第で、県の融資制度の活用などが考えられます。しかし、民宿に改造するための増改築費用について、6次産業の中で支援できるかどうかは、少し検討する余地があるかと思っております。

※グリーンツーリズムとは、農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動のこと。

質問

安心して住み続けるための各種施策実現を

(三田 忠男議員)

だれもが健康で安心して暮らせる『まち』の実現のために、「地域医療の充実」、「医師・看護師・介護福祉士確保のために市独自の奨学金制度の創設」、「地域包括ケア体制推進、質の高いケア構築のために市役所職員にリハビリ専門職の採用」、あるいは「地域包括支援センターにリハビリ職の配置」等、検討・実施する考えはないか伺います。

長井 市答

医療体制確保のため、全力で対応する

市内の公的病院2医療機関については、救急体制の充実として、公的病院補助事業を行っています。また、救護病院、救護所の協定が締結されている3医療機関には、災害用機器の補助や貸与などを行っています。

人材確保の支援については、市内の2医療機関に看護師などの奨学金制度があり、県には、医師確保のための医学修学研修資金貸与制度があるので、創設の予定はありません。

地域包括ケア体制については、国・県の動向を見ながら、リハビリ職の採用や配置などを検討していきます。

質問

南海トラフ大規模地震に対する防災体制

(永岡 康司議員)

東日本大震災では巨大津波が発生し、多くの方が亡くなり、津波対策については早急な対応が求められています。防災体制について、①避難路や避難場所の整備、確保はどうか。②市民、観光客のための津波避難誘導標識の設置は。③津波避難タワーの設置予定や避難施設の指定は。④高齢者、身障者など要援護者の避難・救助の対応について伺います。

長井 市答

地元住民と十分な話し合いのもと、対応する

津波避難路の選定については、高齢者や観光客の避難に課題はありますが、実際に訓練することを、各自治会や自主防災会にお願いしています。

また、防災器具・医療機器等は必ずしも十分ではありませんが、一定量を整備してあります。できれば、医薬品を含め、いろいろな場面で使っていたきたいと思えます。

リヤカーやおんぶなどの原始的な避難もある中で、救難艇・救命艇については、新たな選択肢ですので、今後、情報をしっかり得ながら検討します。

その他の質問は、件名のみお知らせします。映像を配信中です。ホームページからご覧ください。

永岡康司	三田忠男	山下尚之	小長谷順二	西島信也	森 良雄	杉山 誠	木村建一
大規模災害における救援体制について	津波対応型救命艇について	安全・快適に暮らせるまちになるために安心して子育てができる環境整備の推進	八岳小学校跡地利用について 見通しは	市道矢熊筏場線改良(隧道)工事に向けての今後の見通しは	市道周辺の適正な管理について 観光・商工業・農林水産業の連携、発展について	土肥地区の地震、津波対策について	特別養護老人ホームの新設について
							天城小学校開校までに通学手段、通学路の安全対策の整備を
							修善寺地区小学校再編・統合の発想、児童数が減ることを前提でいいのか。重要な課題、通学手段の検討はしていますか
							天城湯ヶ島地区に建設予定の特別養護老人ホームの進行状況
							「子育て環境」整備について
							小型家電におけるレアメタル等の改修・リサイクルの取り組み
							世界ジオパークを目指して 箱根・大島と一緒に放射能対策
							選挙違反
							いじめ

会派の紹介

伊豆市議会では、平成24年4月、市議会において、政策や目的等を同じくし、調査・研究、政策立案等を行うため、議員一人以上が所属し、議長に届け出た団体を「会派」とする規程を設けました。

任期満了による改選後、第4期伊豆市議会が始まり、会派が二つ結成されましたので紹介します。

なお、会派に関する規程では、会派の運営に関わる費用は、所属議員の負担としました。

しかし、会派による議員派遣の旅費については、年間一人当たり5万5千円を限度として、支給することになりました。

また、会派に所属しない議員も、会派を結成しているものとみなして、議員派遣の旅費の支給を可能としています。

創生伊豆

代表者 小長谷 朗夫
会計担当 小長谷 順二

所属議員 小長谷 朗夫
永岡 康司
大川 明芳
三田 忠男
山下 尚之
山田 元康
小長谷 順二
青木 靖

フロンティア伊豆

代表者 梅原 正次
会計担当 室野 英子

所属議員 梅原 正次
室野 英子
森島 吉文
飯田 正志
杉山 誠

議会傍聴・視聴について

本会議はごなたでも傍聴することができず。当日、本庁2階へお越しください。

団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

3月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

2月21日(木) 施政方針演説

議案上程

27日(水) 議案質疑

3月14日(木) 一般質問

15日(金) 一般質問

21日(木) 委員長報告

質疑・討論・採決

※日程については、変更となる場合があります。ご了承ください。

編集後記

昨年10月の改選で16名の議員が選出されましたが、その結果には考えさせるものが数多くありました。市民が市政を見つめる眼は、以前と比べ格段に厳しくなっています。

この「議会だより」は、今伊豆市では何が問題となっているか、議会はそれをどのように審議しているかをお伝えするものです。皆様からのご意見、ご注文をどんどんお寄せください。市民と一緒に、紙面を充実していく所存です。

委員長 西島 信也



▲議会報編集委員6名です。
1年間、よろしくお願いいたします。